

DEEBOT MINI™

JA 取扱説明書



ECOVACS ROBOTICS の床用ロボット掃除機 DEEBOT をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご満足いただけますと幸いです。新しいロボットをご購入いただいたことで家庭内の清掃がはかどり、生活のレベルが向上してスマートに日々の暮らしを楽しめるようになるはずです。

Live Smart. Enjoy Life.

説明書に記載されていない状況が発生した場合は、サポートセンターにご連絡ください。専門スタッフがご質問へお答えします。

ECOVACS ROBOTICS のオフィシャル Web サイト www.ecovacs-japan.com をご覧ください。

本製品は品質向上のためデザインや仕様の変更を行う場合がございます。

DEEBOT をお選びいただきありがとうございます。

目次

1. 安全に関する重要注意事項.....	4
2. パッケージ内容と仕様.....	6
2.1 パッケージの内容.....	6
2.2 仕様.....	6
2.3 製品名称.....	7
3. 操作および設定.....	9
3.1 清掃前の注意.....	9
3.2 使用ガイド.....	10
3.3 清掃モードの選択.....	13
3.4 スケジューリング.....	14
3.5 インジケータとアラーム.....	15
4. メンテナンス.....	16
4.1 ダストボックスとフィルター.....	16
4.2 クリーニングクロスとクリーニングクロスプレート.....	17
4.3 吸入口とサイドブラシ.....	18
4.4 その他の部品.....	18
5. トラブルシューティング.....	19

1. 安全に関する重要注意事項

本製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。
本製品のご使用前に、すべての指示をお読みください。

この取扱説明書は保管してください。

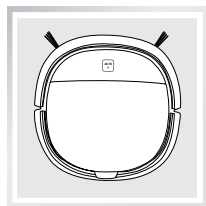
1. 本製品は、8歳未満のお子様あるいは適切な使用に関する知識のない方の使用を想定していません。該当する方が使用される場合、監督が必要になります。お子様が本製品に乗ったり、本製品を使って遊ばないようにしてください。
2. 掃除する場所を片付けてください。電源コードを外し、本製品に絡まる可能性のある小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテーブルクロスなどは床から持ち上げます。
3. 掃除する領域内に段差や階段等の落ちる可能性がある場所では、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを確認してからご使用ください。段差を検知できない場合、落下を防止するため段差の縁に罫を置いてください。段差に罫を置いてもこつまずかないように注意してください。
4. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。メーカーによって推奨あるいは販売されている消耗品・付属品のみを使用してください。
5. ご使用環境で電源の電圧が、充電ドックに記載されている電圧と一致していることを確認してください。
6. ご家庭の屋内でのみ使用するようにしてください。本製品は、屋外使用、ビジネスあるいは産業用途での使用を想定していません。
7. メーカーで推奨しているバッテリーおよび充電ドックのみを使用してください。非充電バッテリーは使用できません。バッテリーに関する詳細は、仕様記載部分をご確認ください。
8. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けないままの状態で使用しないでください。
9. 火の灯ったロウソクや壊れやすい物のある場所で使用しないでください。
10. 極端な高温あるいは低温の環境(-5°C未満あるいは40°C以上)で使用しないでください。
11. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動作している部位に近づけないでください。
12. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
13. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
14. 本製品に石、大きな紙、その他詰まる可能性のある物を吸わせないでください。
15. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど燃焼性あるいは可燃性の物を本製品に吸わせないでください。またそのような物質が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
16. タバコ、マッチ、熱を持った灰、その他発火の原因となる可能性のある物を本製品に吸わせないでください。
17. ほこりの吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は使用しないでください。吸入口にほこり、糸くず、髪、その他空気の流れを減らす可能性のある物が溜まらないようにしてください。
18. 電源コードが損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や充電ドックを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだままドアを締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動かさせないでください。電源コードは、熱を持った場所から離れた場所に置いてください。
19. 電源コードが損傷している場合には危険を避けるため、サポートセンターによる交換が必要となります。
20. 充電ドックが損傷している場合は使用しないでください。
21. 電源コードや家庭用コンセントソケットに損傷がある場合は使用しないでください。適切に動作しない場合、落としたり損傷させたりした場合、屋外に放置された場合、水と接触した場合には、本製品や充電ドックを使用しないでください。危険を避けるため、サポートセンターによる修理が必要となります。

1. 安全に関する重要注意事項

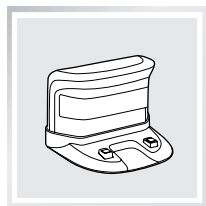
22. 本製品はメンテナンスや保守作業前に、電源スイッチをオフにしてください。
23. 充電ドックの清掃や保守作業前には、電源コードをコンセントソケットから外す必要があります。
24. バッテリーを取り外す前に、本製品を充電ドックから外して電源スイッチをオフにしてください。
25. 本製品を破棄する前にバッテリーを取り外し、ご使用環境の法規制に従って、廃棄する必要があります。
26. 使用済のバッテリーは、ご使用環境の法規制に従って廃棄するようにしてください。
27. 損傷が激しい場合にも、本製品を焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
28. 長期間充電ドックを使用しない時は、電源コードをコンセントソケットから外してください。
29. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用してください。本製品の故障または使用上で生じたお客様の損害については、責任を負いかねます。

2. パッケージ内容と仕様

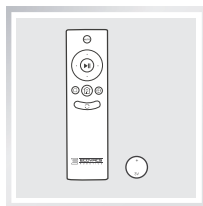
2.1 パッケージの内容



掃除機本体



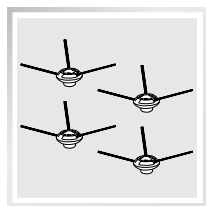
充電ドック



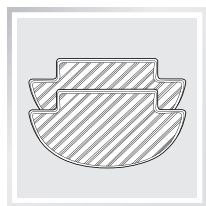
リモコン (ボタン電池付き)



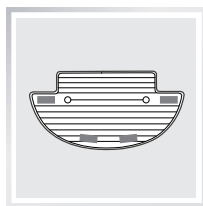
取扱説明書



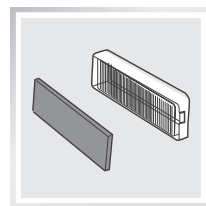
サイドブラシ (4)



クリーニングクロス(2)



クリーニングクロスプレート



交換用高性能フィルター・スポンジフィルター

2.2 仕様

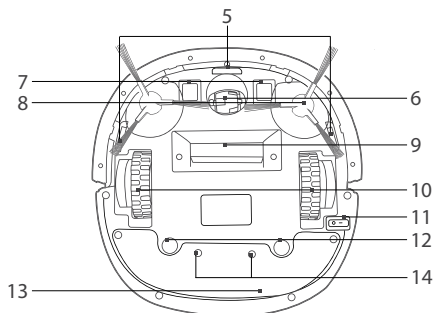
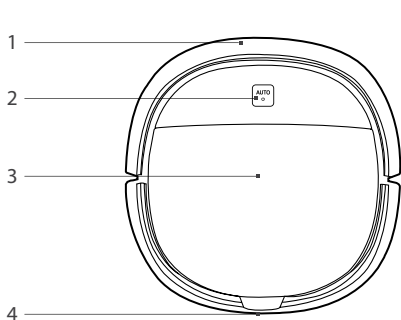
型番	DK560		
作動電圧	12V DC	定格出力	15W
充電ドック型番	CH1465A		
定格入力電圧	100V AC	定格出力電圧	20V DC
定格出力電流	1A	定格出力	20W
リモコン型番	RC1521B	入力電圧	3V DC
バッテリーと仕様	ニッケル水素充電電池 SC 1800mAh		

* 本製品は品質向上のためデザインや仕様の変更を行う場合がございます。

2. パッケージ内容と仕様

2.3 製品名称

掃除機本体



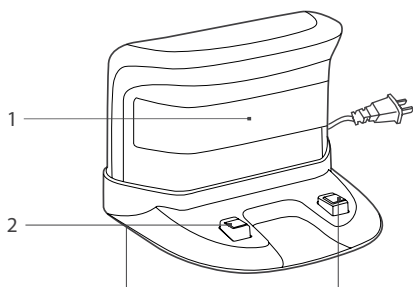
- | | |
|--------------|------------------------|
| 1. 衝突防止センサー | 8. サイドブラシ |
| 2. コントロールパネル | 9. 吸入口 |
| 3. トップカバー | 10. 駆動ホイール |
| 4. 赤外線受信部 | 11. 電源スイッチ |
| 5. 落下防止センサー | 12. クリーニングクロスプレートのスロット |
| 6. 回転ホイール | 13. バッテリーカバー |
| 7. 充電コネクタ | 14. バッテリーカバーのねじ |

コントロールパネル



- | |
|----------------|
| 1. AUTO モードボタン |
|----------------|

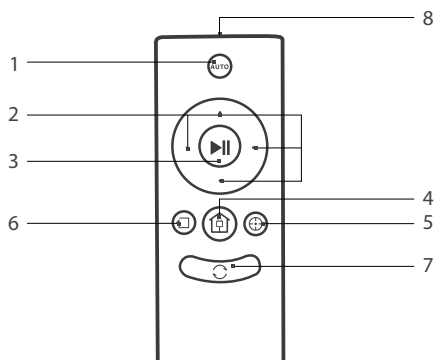
充電ドック



- | |
|-------------|
| 1. 赤外線信号発生器 |
| 2. 充電ドックピン |

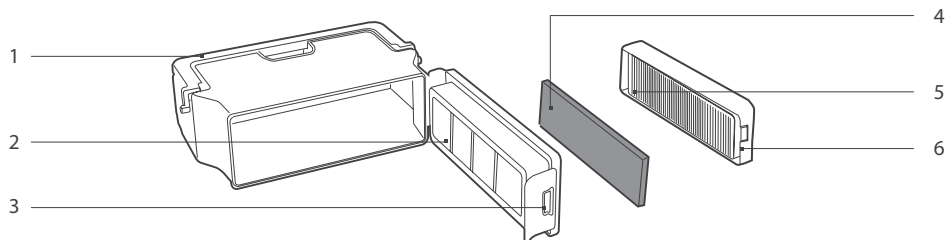
2. パッケージ内容と仕様

リモコン



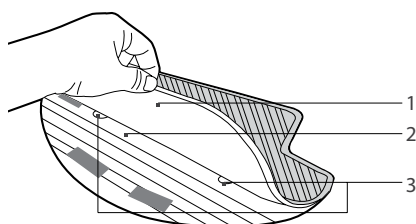
1. AUTO モードボタン
2. 方向制御ボタン
3. 開始／一時停止ボタン
4. 充電モードボタン
5. スポット清掃モードボタン
6. 壁際清掃モードボタン
7. スケジューリングボタン
8. 赤外線送信部

ダストボックスとフィルター



1. ダストボックスハンドル
2. フィルターネット
3. ダストボックスロック
4. スポンジフィルター
5. 高性能フィルター
6. ダストボックスカバー

クリーニングクロスとクリーニングクロスプレート

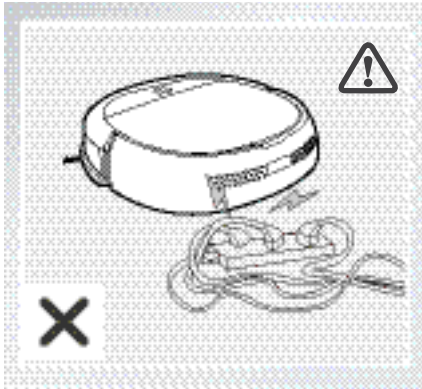


1. クリーニングクロス
2. クリーニングクロスプレート
3. クリーニングクロスプレートのタブ

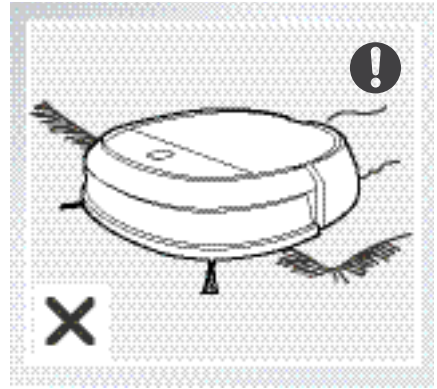
3. 操作および設定

3.1 清掃前の注意

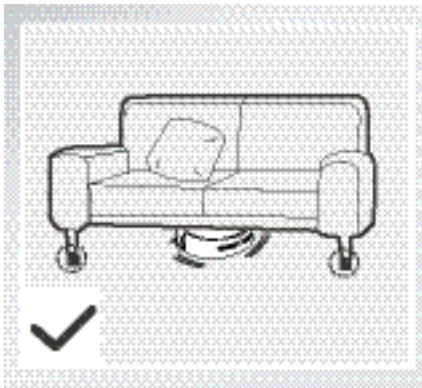
本製品を操作する前に清掃する範囲を確認し、障害になる物は取り除いてください。



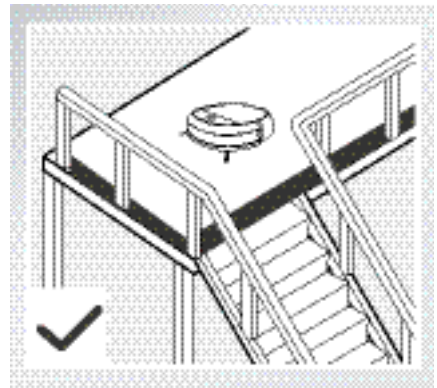
巻き込む可能性のある電源コードや小さなものを、床から取り除いてください。



本製品は、敷物の上での使用には適していません。敷物が清掃範囲にある場合は、敷物の端を下に折り込んでください。



本製品が家具の下を清掃するためには、家具と床との隙間が9cm以上空いている必要があります。



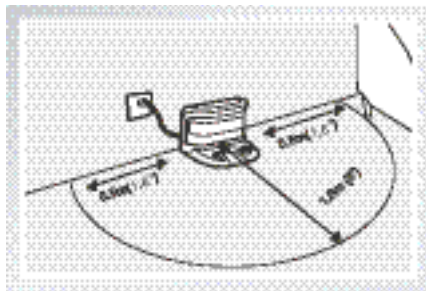
清掃する領域に段差や階段など落ちる可能性がある場所では、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを確認してからご使用ください。段差を検知できない場合、落下を防止するため段差の縁に罫を置いてください。段差に置いた罫に引っかからないように注意して下さい。

3. 操作および設定

3.2 使用ガイド

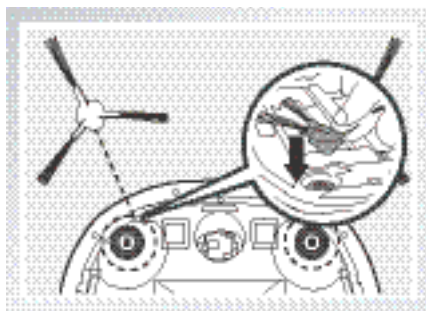
1 充電ドックの設置

- 充電ドックは壁を背にして平面な床の上に配置します。充電ドックの周囲に物や反射するもの(鏡など)がないことを確認し、ドックの前面に1.5m、両側に0.5mのスペースを確保してください。
- 充電ドックをコンセントにつなぎます。



2 サイドブラシの取り付け

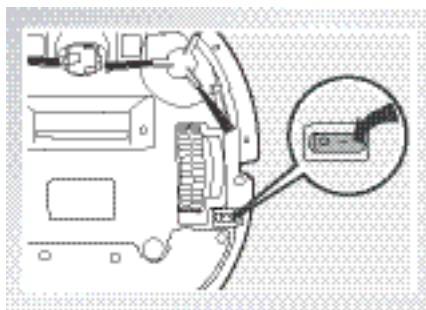
- 本体の裏側にあるサイドブラシのスロットに同じ色のサイドブラシをカチッと音が鳴るまで押し込みます。



3 電源の投入

- 本体の下部の電源スイッチをオンにします。“I”=電源オン;“O”=電源オフ。本体の電源がオンになると、AUTOモードボタンが青色に点灯します。

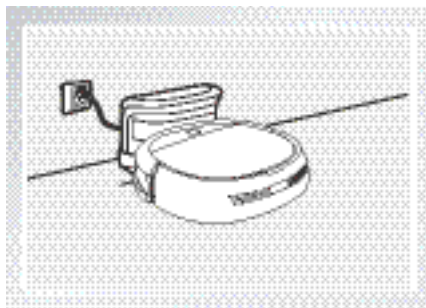
* 本製品は電源をオンにしたまま充電を行ってください。短期間で使用にならない場合でも、充電しておくことを推奨しております。



3. 操作および設定

4 DEEBOT の充電

- 本体を充電ドックの上に置き、充電コネクタと充電ドックピンを接触させます。
- 本製品を初めてご使用される際には、4時間以上充電を行ってください。



* 充電する前に、本体の下部の電源スイッチがオンになっていることを確認して下さい。

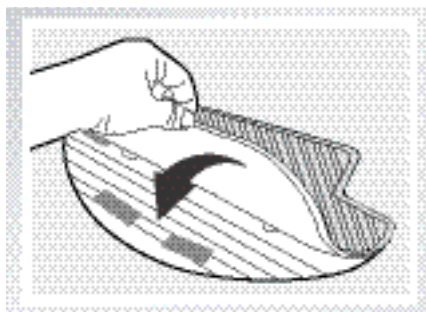
* 本体が充電中の場合、AUTOモードボタンが点滅します。完全に充電されている場合、AUTOモードボタンが消灯します。

5 クリーニングクロスを取り付け（必要な場合）

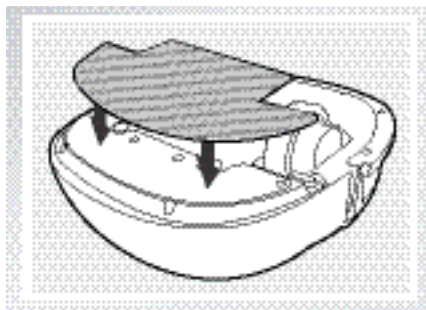
モップ機能を使用するには、本製品に付属している、クリーニングクロスをプレートに取り付けます。

* モップ機能を使用する際は、本製品が敷物の上にあがらないように、敷物の端を下に折り込んで段差を作ってください。

クリーニングクロスをクリーニングクロスプレートに取り付けます。クリーニングクロスプレートの角側を、クリーニングクロスのポケットに入れます。クリーニングクロスプレート下部のクリーニングパッド取付槽にクリーニングクロスの下側を張り付けます。



クリーニングクロスプレートのタブをDEEBOT底部のクリーニングクロスプレートスロットにカチッと音が鳴るまで押し込みます。

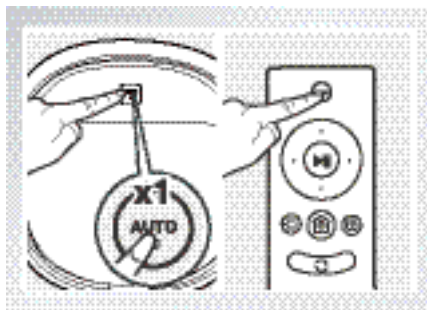


3. 操作および設定

6 清掃開始

- 本体またはリモコンのAUTOモードボタンを押します。本体がオート清掃モードで起動します。

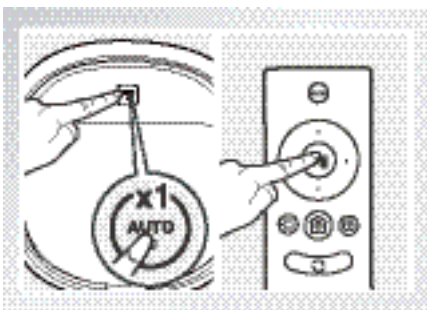
* 別の清掃モードを選択する方法については、セクション33「清掃モードの選択」を参照してください。



7 一時停止

- DEEBOTを一時停止するには、本体のAUTOモードボタンを押すか、リモコンの開始/一時停止ボタンを押します。

* 一時停止している間にリモコンの方向制御ボタンを使って、前後移動や左右の旋回を行うことができます。一時停止すると、吸引やブラシの動作は行いません。

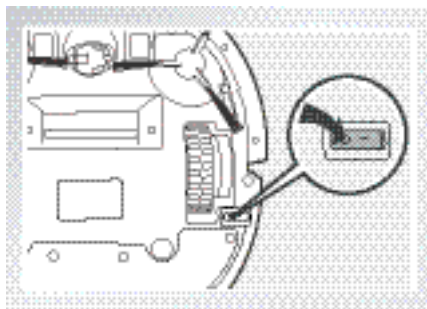


* 本体を一時停止のまま10分以上経過すると、電力を節約するために、本体コントロールパネルのAUTOモードボタンが消灯します。本体のAUTOモードボタンを押して本体を起動させるか、リモコンの任意のボタンを押して本体を起動させて下さい。

8 電源をオフにする

- DEEBOTを一時停止します。下部の電源スイッチをオフにします。

* 本製品は電源をオンにしたまま充電を行ってください。短期間で使用にならない場合でも、充電しておくことを推奨しております。



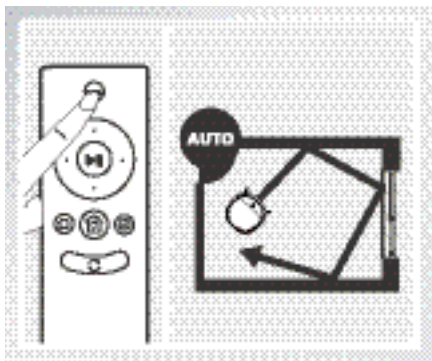
3. 操作および設定

3.3 清掃モードの選択

DEEBOTでは、複数のオプションから清掃モードを選択して、さまざまな床を効果的に清掃することができます。清掃モードはリモコンで選択します。

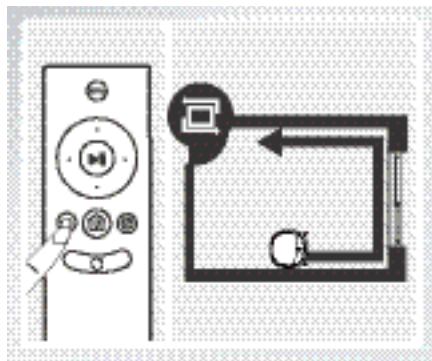
1 オート清掃モード

基本の清掃モードです。オート清掃モードでは、障害物を感知してランダムなコースで清掃を行います。



2 壁際清掃モード

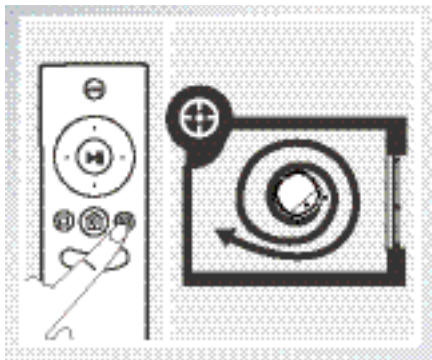
壁際やお部屋の隅の清掃に適したモードです。壁際清掃モードでは、壁に沿いながら清掃し、壁際清掃を完了すると充電ドックに戻ります。



3 スポット清掃モード

(2-5分)

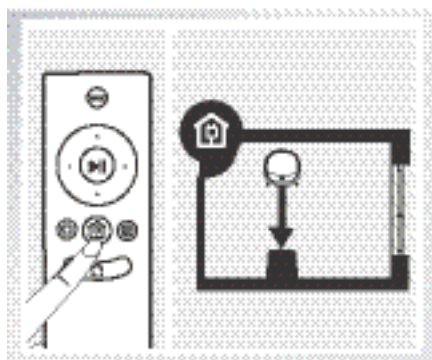
ほこりや塵が極端に積もっている場合に最適なモードです。スポット清掃モードでは、渦巻き状に移動しながら掃除し、スポット掃除が完了すると停止します。



4 充電モード

バッテリーの残りが少なくなると、本体は自動的に充電モードへ切り替わり充電ドックに戻って充電を行います。

* リモコンの充電モードボタンを押すことで、本体をいつでも充電ドックに呼び込ませることができます。



3. 操作および設定

3.4 スケジューリング

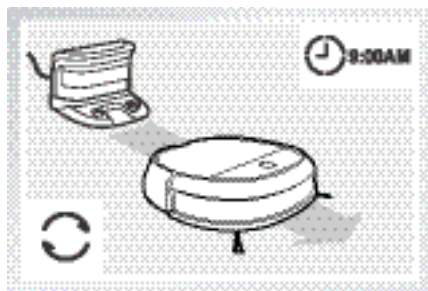
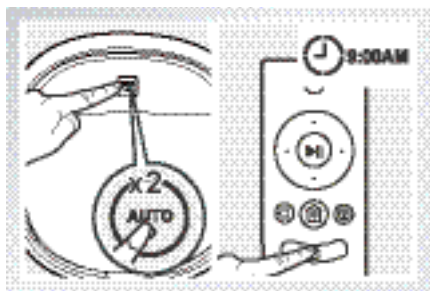
本製品にはスケジューリング機能が搭載されています。1日に1回、毎日同じ時間に清掃を行うようスケジューリングを行うことができます。

* スケジューリング設定で清掃する場合は、オート清掃モードになります。

1 スケジューリングの設定

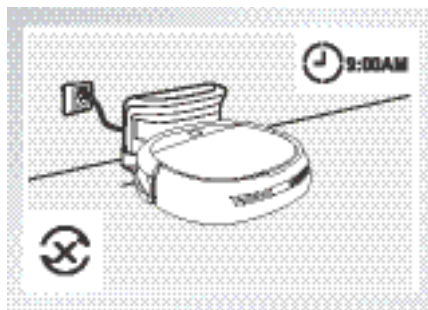
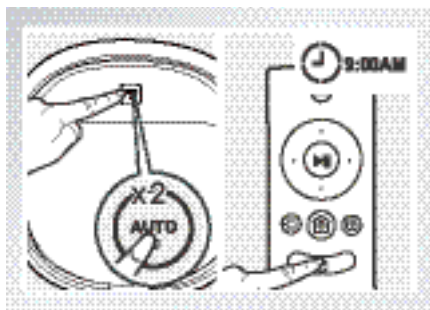
本体のAUTOモードボタンを2回押すか、リモコンのスケジューリングボタンを押して、清掃時刻として現在の時刻を設定します。スケジューリングが設定されると、ビープ音が2回鳴ります。毎日設定された時刻に、自動で清掃が行われます。

例：スケジューリングを午前 9:00 に設定すると、毎日午前 9:00 に清掃が行われます。



2 スケジューリングのキャンセル

本体のAUTOモードボタンを2回押すか、リモコンのスケジューリングボタンを押します。スケジューリングがキャンセルされると、ビープ音が3回鳴ります。



* スケジューリングの時刻を変更する場合は、現在のスケジューリングをキャンセルし、スケジューリングを希望の時刻にもう一度設定します。

* DEEBOT の電源がオフになると、スケジューリングはキャンセルされます。

3. 操作および設定

3.5 インジケーターとアラーム

本体に問題を検出し、対処が必要な場合は、ピープ音が鳴り、AUTOモードボタンが赤色に点滅します。

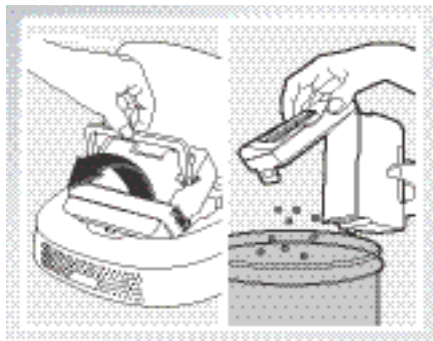
アラームサウンド	問題	解決策
1回のピープ音	駆動ホイールの誤作動	セクション4「メンテナンス」の説明に従って、駆動ホイールに髪の毛や異物が絡みついているかを確認し、掃除します。
3回のピープ音	駆動ホイールの誤作動	本体を裏返します。駆動ホイールを押して、カチッという音が鳴るかどうかを確認します。カチッという音が鳴らない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。
	障害物による誤作動	手で障害物を取り除き、本体を再起動します。
4回のピープ音	ダストボックスの誤作動	ダストボックスを取り外し正しく取り付け直します。それでもアラームが鳴る場合は、サポートセンターにお問い合わせください。
5回のピープ音	バッテリー残量低下	本体を手動で充電ドックに置いて、充電します。
6回のピープ音	サイドブラシの誤作動	セクション4「メンテナンス」の説明に従って、サイドブラシに髪の毛や異物が絡みついているかを確認し、掃除します。
7回のピープ音	落下防止センサーの故障	セクション4「メンテナンス」の説明に従って、落下防止センサーに埃や汚れがないかを確認し、掃除します。

4. メンテナンス

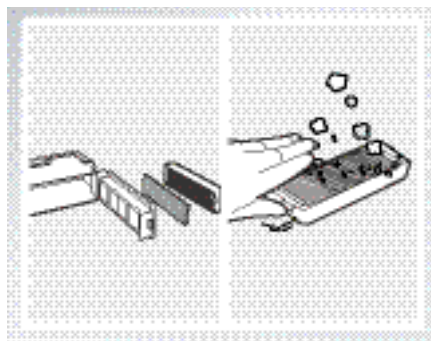
* 本製品のクリーニングやメンテナンスを行う際には、電源をオフにして充電ドックから外してください。

4.1 ダストボックスとフィルター

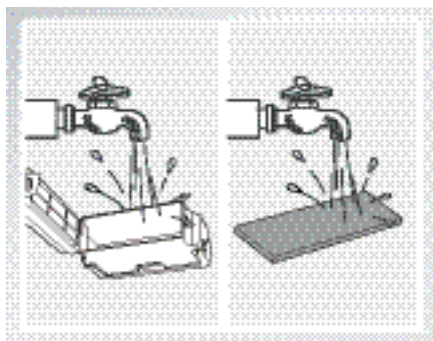
本体トップカバーを開き、ダストボックスを取り外します。ダストボックスのロックを開いて中のゴミを捨てます。



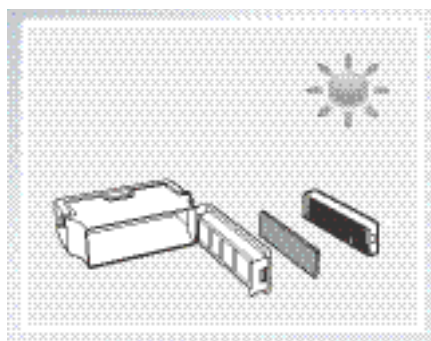
フィルターを取り外します。高性能フィルターを軽くたたいてごみを落としてください。高性能フィルターは水洗いしないでください。



ダストボックスフィルターネットおよびスポンジフィルターを水洗いします。



ダストボックス、およびスポンジフィルターは完全に乾いてから取り付けてください。

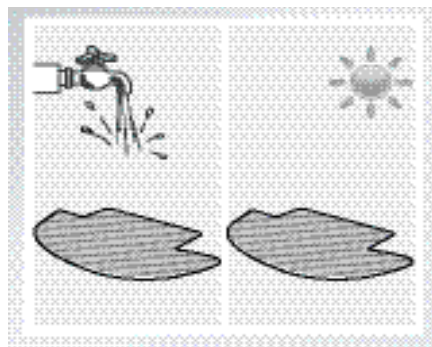
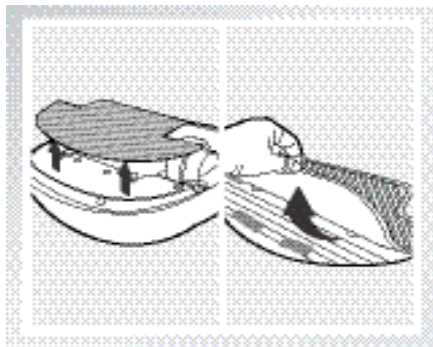


4. メンテナンス

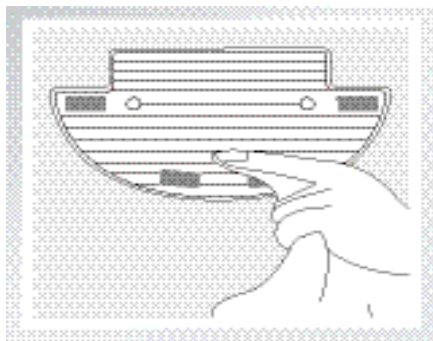
4.2 クリーニングクロスとクリーニングクロスプレート

本体からクリーニングクロスプレートを取り外し、クリーニングクロスを外します。

クリーニングクロスを手洗いし、乾燥させます。



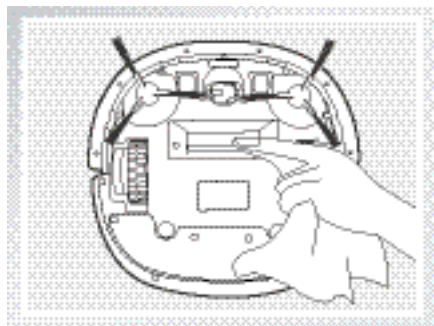
クリーニングクロスプレートを乾いた布で拭きます。



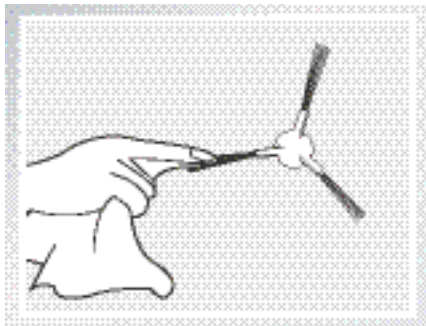
4. メンテナンス

4.3 吸入口とサイドブラシ

吸入口を乾いた布で拭きます。

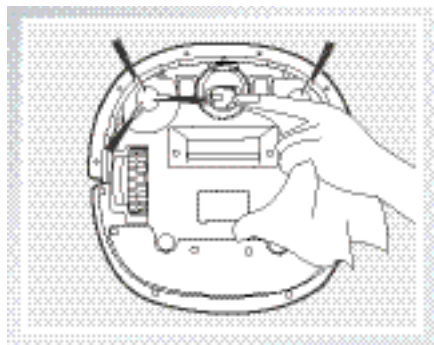


サイドブラシを取り外し、清潔な布でサイドブラシとサイドブラシスロットを拭きます。

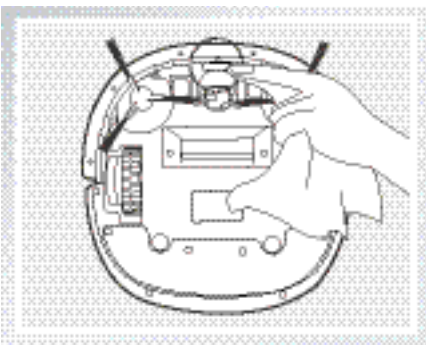


4.4 その他の部品

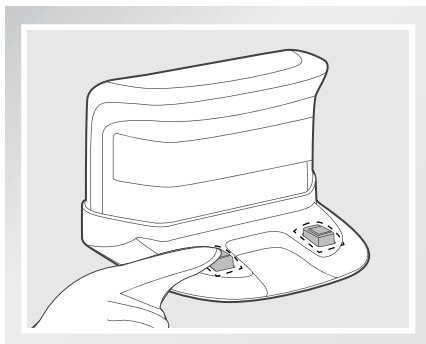
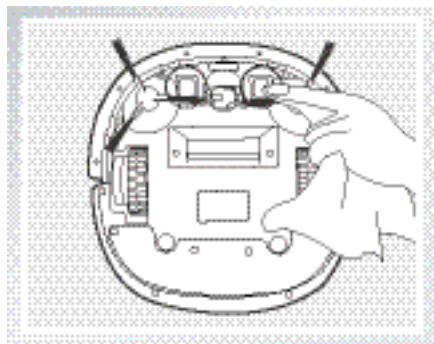
回転ホイールに絡まった髪の毛を取り除き、回転ホイールを掃除します。



落下防止センサーを乾いた布で拭きます。



充電コネクタおよび充電ドックピンを乾いた布で拭きます。



5. トラブルシューティング

本製品の一般的な不具合については以下の表を参考にしてください。

番号	誤作動内容	考えられる原因	解決策
1	本体が充電されない。	本体の電源が入っていない可能性があります。	本体底面の電源スイッチをONにしてから充電を行ってください。
		本体と充電ドックが接触していない可能性があります。	本体の充電コネクタが充電ドックピンと接触しているかを確認してください。接触していない場合は手動で本体の充電コネクタと充電ドックピンを接触させてください。
		充電ドックのコンセントが抜けている可能性があります。	充電ドックのコンセントを差し、本体の電源を入れた状態で充電を再開してください。充電ドックのコンセントが抜けているとバッテリー消耗の原因となります。
		バッテリーが完全に放電されている可能性があります。	バッテリーを容量を復活させます。本体を手動で充電ドックに置き、3分充電したら取り外します。これを3回繰り返してから、通常充電を行います。
2	清掃中に問題が発生して停止する。	床の上の物(電源コード、床についたカーテン、敷物の縁など)が絡まっている可能性があります。	絡まったものが外れるように動作しますが、外れない場合は手で障害物を取り除き、再起動してください。
3	清掃が終了する前に充電ドックへ戻ってしまう。	バッテリーの残りが少なくなると、本体は自動的に充電モードへ切り替わり、充電ドックに戻って充電を行います。	完全に充電されていることを確認してから清掃を行ってください。
		床面や部屋の複雑さ、清掃モードによって清掃時間が変化します。	オート清掃モードの場合、床に置いているものを片付けていただくことで清掃時間が延びる場合があります。

5. トラブルシューティング

番号	誤作動内容	考えられる原因	解決策
4	スケジュールリングされた時刻に自動清掃が行われない。	スケジュールリングがキャンセルされている可能性があります。	セクション34「スケジュールリング」を参照してください。
		本体底部の電源スイッチがオフになっている可能性があります。	本体底部電源スイッチをオンにしてください。
		本体のバッテリーが消耗している可能性があります。	スケジュールリングを利用して清掃を行う際は、常に電源をオンにして充電ドックで充電を行ってください。
		本体の吸入口が塞がれていたり、本体の部品に異物が絡まったりしている可能性があります。	本体の電源を切り、吸入口やダストボックス、サイドブラシ等の動作する部分を清掃してください。
5	リモコンが正しく動作しない(リモコンの有効な制御範囲は5mです)。	リモコンの電池が正しく入っていないか、電池が切れている可能性があります。	リモコンの電池が正しく入っているかを確認してください。電池が正しく入っていてもリモコンが動作しない場合は電池を交換してください。
		本体の電源がオフになっているか、バッテリーが消耗している可能性があります。	本体の電源を入れてください。バッテリーの残量が少ない場合は充電を行ってからご使用ください。
		リモコンの信号が本体に届いていない可能性があります。	乾いた布でリモコンの赤外線発信部と本体の赤外線受信部を拭いてください。リモコンの受信距離は5mまでです。
		リモコンの赤外線が他の機器に妨害されている可能性があります。	赤外線を発信する機器の近くで、リモコンを使用しないでください。

